

会 議 録

会議の名称	平成 30 年度 第 3 回 所沢市環境審議会
開催日時	平成 30 年 11 月 30 日(金) 10:00～11:15
開催場所	所沢市市庁舎高層棟 7 階 研修室
出席者の氏名	田中充、毛利吉成、天野正博、内田勉、渋谷正則、金子亮、 長谷川陽子、坂根裕子、上田マリノ、栗須菊香
欠席者の氏名	足立圭子、秋元智子、高柳正行、佐々木渉、藤田由紀枝
議題	1 開 会 2 議 事 （1）パブリックコメントの結果について （2）現行計画の達成状況について （3）その他 3 閉 会
会議資料	・次第 ・資料 1-1 所沢市マチごとエコタウン推進計画（第 3 期所沢市環境基本計画）（案） ・資料 1-2 所沢市マチごとエコタウン推進計画 重点実施計画（案） ・資料 2 パブリックコメント意見一覧及び市の考え方（案） ・資料 3-1 第 2 期所沢市環境基本計画の達成状況（概要） ・資料 3-2 第 2 期所沢市環境基本計画の達成状況（詳細） ・参考資料 1 地域新電力の設立について ・参考資料 2 ブラチスラバ市（スロバキア共和国）との国際都市間協力について
担当部課名	環境クリーン部 部 長 廣川 澄芳 次 長 一井 里映 環境政策課 課 長 大館 真哉 主 幹 安藤 善雄 主 査 並木 美佐子 主 査 三浦 直子 主 事 溝越 弘倫 環境対策課 課 長 矢野 正和 みどり自然課 課 長 奥村 稔 資源循環推進課 課 長 池田 淳 環境クリーン部環境政策課 電話 04-2998-9133

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
環境政策課主幹	あいさつ
	<p><開会> 出席者が全委員の過半数に達しているため、審議会規定により会議の成立を確認。 傍聴者はなし。</p> <p>【議題1 パブリックコメントの結果について】</p>
会 長	それでは、議題の1番目「パブリックコメントの結果について」に関して事務局より説明をお願いします。
事務局	＜資料2に基づき説明＞
会 長	ただいまの事務局の説明について、ご意見やご質問などがあればお願いしたい。
副会長	5人の方から意見をいただいたということだが、大半が循環型社会の形成にかかわる内容である。これは同じ方からの意見か。
事務局	同じ方からではない。
副会長	ごみの有料化についての意見が2つ、今話題になっているプラスチックごみに関する意見もある。それらの意見に対する考え方のところで「頂いたご意見については今後の施策の参考にさせていただきます。」とあるが、今後どういう形で具体的に反映していくのかがわからない。
会 長	今のご意見はNo.5に対しての意見であると思うが、頂いた意見に対して具体的にどんな対応をとるのかという内容であった。
事務局	No.5のご意見については、前段が趣旨であり、後段の「例えば」以降については、具体的な例示となっている。ご意見の趣旨の政策提言や提案については6-1-1-④の施策で進めていくと整理しており、後段の例示について、海洋プラスチックの問題は、国も検討中であるので、具体的施策を進めていく中での参考とさせていただきますという事である。ただ、課題であるという認識は持っている。
副会長	今議論にあったNo.5で、「国・県等との連携・協力の推進とし

	<p>て進めてまいります。」と回答にあるが、国では環境省がプラスチックの問題に限らず、各種取組みを積極的に進めている。市としては、こういった問題や環境省の取組みなども察知してもらい、活かしていただきたい。</p>
会 長	<p>今後の施策の具体的な対応について、国等の動きをよく見ながら対処していただきたいといったご意見である。</p>
委 員	<p>No. 13 についてであるが、昨年、三ヶ島小学校で米づくりが行われた。全市民、全事業所の参加はなかなか難しいが、小学校・中学校全体で、米作り等を行っていくのは良いのではないかと思う。小学生から段階的にはじめていくのが良いのではないかと思う。</p>
会 長	<p>学校のご都合もあるとは思うが、ぜひ学校も巻き込んで、今後の施策に取り入れていただきたいと思う。</p>
委 員	<p>No. 11 についてだが、広報「ところざわ」に掲載すべきというのは非常に良い考え方だと思った。今は物語がないと、人は動かないという。やはりリサイクルや省エネ行動など人を動かしたい場合は、わかりやすく、かみ砕いたストーリーがあると良い。分別の仕方が記載されていても、そこに「どうして」、「なぜ」ということが書かれていないと人は動かないと感じる。ぜひ今後、連載で物語を書いてもらえると良いかと思う。</p>
会 長	<p>ストーリーを作っていただくと、頭に入りやすく構造がわかりやすくなって伝わりやすいのではないかというご趣旨だと思う。先ほどの小学校の話で何かご意見はあるか。</p>
委 員	<p>小学校では稲作を行っており、この面積からこれだけしか収穫できないということや、これだけ働いても5キロしか収穫できないと実感すると、スーパーで買う5キロとは同じではないように感じるようだ。そのほかにもサツマイモ植え体験など発達段階に応じて様々なことに取り組んでいるが、子どもの学びだけでなく、教える教師もそこで学ぶことができる。牛乳パックの回収なども、「どうして」、「なぜ」ということを含めて教師も学ぶ機会を作っていくのは、大事であると思う。</p>
会 長	<p>他に意見はあるか。</p>
委 員	<p>回答の仕方だが、「参考にさせていただきます」が多いので、説明を加えた上で、「参考にさせていただきます」と最後につけ加えるのが良い。ごみの分別収集は、立場の違いで、全部一括で</p>

	<p>集めて燃やしても良いのではないかなどの意見もある。ごみの分別が必要であるということは、説明するとわかるが、納得してもらうことはなかなか難しい。それぞれの観点で解決策を出すことが必要である。ごみの有料化についても、分別してリサイクルなどをするとどのくらい減量する、有料化するとどのくらい変わる、のように効果を見せていただくと説得力があると思う。</p> <p>マイバックを始めたときは、生産者側から強い反対があったが、今では多くの皆さんが利用している。分別も同様で、最初の一步が大変なので、意見があったときには説明会を用意するなどにより、スムーズにいくよう配慮するべきである。</p>
<p>会 長</p>	<p>パブコメの意見とそれに対する考え方というのほどここに公表されるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ホームページ等で公表する予定である。</p>
<p>会 長</p>	<p>お手元のは審議会の資料であるが、今委員から意見があったように、公表する際は、事情や取組み状況の説明を加えたうえで、「今後の参考にさせていただく」といった回答にしてはどうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>No. 6、No. 7 の意見についてであるが、「ごみの有料化」とは具体的に何が有料になるのかわからない。指定ごみ袋を有料化するという位置づけなのだろうが、所沢市ではどのように回答するのか。先ほども意見があったように、確かにごみは減量されている実績があるようだが、有料化の位置づけを整理し、定義づけが必要ではないかと思う。</p>
<p>環境クリーン部 部長</p>	<p>環境基本計画においては、62 ページ 3-3-1-⑤に、「必要があれば有料化も含めて考える」という書き方をしているが、ごみの有料化も含め廃棄物関連の施策については廃棄物減量等推進審議会においてご審議いただいているところである。具体的な事業については、そこでご意見をいただき検討した上で、今後決まっていくこととなる。</p> <p>有料化とはごみ袋の有料化の他に、重量で有料化する方法があり、本市では粗大ごみの持ち込みが後者に該当する。今後、必要性等を検討していく中で、どのような方法が妥当なのかということも含めて市民の方々にもお示しできると思う。</p> <p>また、みどりの分野にもみどりの審議会があり、現在、計画を改定中で、12 月にパブリックコメントを実施する予定である。これまでのみどりの基本計画と異なるのは街中の緑を守ることを重点課題としているところである。今までは駅の周りのみどりを守るという考え方であったが、次期計画からは、街の中心の市</p>

	<p>街地まで範囲を広げて保全していく。生産緑地についても、みどりという位置づけで街中にみどりを増やす。ご意見にもあった、ものを作って体験しながら学ぶことは大切であると考えているので、今後、議論していきたいと思う。同時に、伝えるということも大切だと考えているので、どのような方法であれば、皆さんに伝えられるかということを考えながら進めていきたいと思う。</p>
会 長	<p>委員の方のご意見も踏まえて回答を修正いただきたい。他に意見がないようであれば、本日の審議をもって資料 1-1、1-2 については答申案として確定させていただきたい。ただ文言等の微調整はあると思うので、まだご意見があるという方は、1 週間ほど期間を設けて、最終的には私と事務局で調整をさせていただきたいと思う。案としてはこれで確定とし、1 月には答申をしたいと考えている。ご了承いただければ、修正後の案を答申案として取り扱いたいと思う。その運びで進めさせていただいてよろしいか。</p>
全委員	(異議なし)
会 長	<p>ありがとうございました。それでは、本件を答申案として扱うことで、ご了承いただいたこととする。 引き続き、議題 2 に移りたい。</p>
事務局	<p>【議題 2 現行計画の達成状況について】 ＜資料 3-1、3-2 に基づき説明。＞</p>
会 長	<p>順調に進んでいる項目もあるが、未達成の項目もあり、今後分析を進めていくという内容であったと思う。ただいまの事務局の説明について、ご意見やご質問などがあればお願いしたい。</p>
委 員	<p>企業として実行できそうなものはエコカーの普及だと思う。実際、私の会社もエコカーの走行距離の問題で今までは買わなかったということもある。今は改善もされているので、性能の向上等を広く PR することで、多くの人がエコカーに興味を持つのではないか。また、市では補助金も出しているから、制度を継続していただきたい。</p>
会 長	<p>来年度以降の次期計画の内容になるかと思う。他に意見はあるか。</p>
委 員	<p>2 点質問になるが、①リサイクルふれあい館の来館者数が増加した要因と来館者の年代について、②ホームページのアクセス数が目標値の 2 倍以上に増えているがその要因について教えてい</p>

<p>会 長</p> <p>資源循環推進課長</p>	<p>ただきたい。</p> <p>No. 87、No. 88 についての質問である。</p> <p>1 点目のリサイクルふれあい館の関係について、まず来館者数が増えた要因としては、展示の内容を改めたり、事業の工夫を行ったりしている。イベントについても 2 日間の開催を 3 日間の開催に変更したり、交通の状況を考えて時間帯を設定し直したりするなど、そのような工夫により来館者数の増加につながった。リサイクル品の頒布についても、1 週間に 1 回行っていた抽選を、小さなものについてはその都度抽選を行うなど、来ていただきやすい環境づくりに努めている。</p> <p>来館者の年代の層については高めであることは間違いないが、子どもの衣料品を多く集めるようにするなどの工夫により、若いお母さんも増えてきている印象である。</p>
<p>事務局</p>	<p>2 点目のホームページのアクセス件数の増加について、目標設定にあたっては、平成 25 年度の実績値を基にしており、当時よりホームページのコンテンツ数が増えたことが要因と考えられる。</p>
<p>会 長</p>	<p>他に意見はないか。</p>
<p>委 員</p>	<p>No. 90 のこどもエコクラブの登録者数の目標値は後期から上がっているが、達成状況は半分も満たない数字である。施策があり、登録者数が伸びるだろうという見込みのもと設定したが、結果としてそこまで伸びていない状況なのか。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料 3-2 の No. 80 「市民 1 人当たりの公園面積」についてだが、人口が減れば、当然一人当たりの面積は増える。指標とする部分は 1 人当たりの面積が増えたというよりも、市民の満足度や活用度等を指標にしたほうが良いのではないか。面積が増えたからといって市民が実感できるかという難しい部分もあると思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>今の 2 人の質問については、エコクラブの目標と緑地関係の項目についてであった。</p>
<p>事務局</p>	<p>こどもエコクラブの登録者数について、目標設定の当時は、児童館の登録が多数あり、今後も児童館を含む団体の登録も増えると思込んで高い目標値を設定したが、毎年更新の際に、取り組めないで登録を解除するという団体が多くあった。現在も児童館の登録はあるが、減ってしまったことが実績値に影響している。</p>

環境政策課長	<p>先ほどの回答に補足をさせていただくと、平成 24 年に児童館すべてに登録してもらったが、その後、継続的な活動が難しく徐々に抜けていくのが実情であった。それを食い止めたいとの思いで目標値を 1,500 としたがその後も抜けていく団体が多かった。逆に登録しているところは熱心に活動していただいているところであり、当初は 200 くらいであったが 700 を超える数まで増えているため、今後も徐々に増やしていきたいと考えている。</p>
みどり自然課長	<p>公園について、所管課ではないが、関連があるため回答する。今後、公園の整備に関する計画については、大規模公園のカルチャーパークの他に小手指の公園があり、17ha 程度だったかと思う。また、三ヶ島に堀之内公園というのがあり、これは 8ha 程度だったかと思う。大きな公園の計画についてはこの 2 つである。</p> <p>市街化区域において歩いて行ける身近な公園ということで、街区公園や近隣公園を設置していくが、そちらも充足率に満たない区域もあるので、市街化区域で地価も高いことから用地の取得等も難しいが、街中の公園についても増やしていきたい。</p> <p>また、指標についてのご質問だが、都市公園の場合は国民 1 人当たりや、市民 1 人当たりという指標が全国的にも多く用いられる。管理している側からすると、他と比べやすいのだと思う。だが、地域の人口の増減で変動するため、人口減少を踏まえると逆転する可能性もあり得る。このまま継続的にこの指標を使うことは難しいので、ご意見にあった通り、満足度や来園者数などに変えていく検討をする必要があると考えている。</p>
委員	<p>もったいない市の利用者数も増えており、古着を利用するのは一般的になりつつあるが、例えば古着を出したときに、そんなに汚れていないが新品でもないという場合には、もったいない市でも活用されるのか。小さいお子さんの洋服を出したら来館者に若いお母さんが多くみられたという話もあったので、そのあたりを知りたい。</p>
資源循環推進課長	<p>現在、古着を集める手段は 3 つある。1 つ目は集積所回収による方法で、月に 1 回の古着・古布と小型家電の回収日に出していただく方法。2 つ目が東西のクリーンセンターやリサイクルふれあい館、東所沢エコステーションに持参いただく方法。もう 1 つがイベント回収で、これがもったいない市である。施設に持っていく方法ともったいない市に出される方法は手選別がされるため、その中から活用される衣類がリサイクルふれあい館にも展示される。集積所に出されたものはそのまま業者に行き、その後、手選別が行われ、市場に回り売られるという流れになる。</p>
委員	<p>最終年度になるので、次の基本計画にあたって PDCA をきちん</p>

<p>会 長</p>	<p>とすべき。項目ごとにどれがうまくいっているのか、それが内的要因なのか外的要因なのかを整理されると良い。</p> <p>今のご指摘は年次報告書にまとめる際のご意見かと思う。本日の資料で言えば、資料 3-1 に柱ごとにまとめている評価の書きぶりについて検討されてはどうかという趣旨かと思う。</p> <p>本日の資料 3-1、3-2 の書きぶりについては今回の年次報告書をまとめる際に検討されて、この内容を踏まえて次年度以降の新しい政策につなげるという流れとなると思う。他にご意見等がなければ、審議はここまでとし、その他の事項に移りたいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>【議題 3 その他】</p> <p>スケジュールと参考資料のご案内をする。スケジュールについては、次回は 1 月 17 日の午前中に最終答申をする予定である。詳細については後日連絡する。参考資料については、参考資料 1 として「ところざわ未来電力」に係る資料をお配りしている。こちらは冊子もあるのでご覧いただければと思う。参考資料 2 は EU が実施している「国際都市間協力プロジェクト」に関するレポートで、スロバキアの首都 ブラチスラバ市に行った報告となっているので参考までにご覧いただきたい。その他については以上となる。</p>
<p>会 長</p>	<p>事務局から案内があったように、次回は 1 月 17 日の午前中を予定しており、答申をしたいということなのでご予定をお願いしたい。参考資料 1 と 2 ということで、新電力事業が動き出し、外国との連携も始まったという報告であった。参考資料をご覧いただき、新しい事業についてもご確認いただきたい。他になければ以上で本日の議事を終了させていただく。それでは、会議の進行を事務局にお返しする。</p>
<p>環境政策課主幹</p>	<p>長時間にわたり活発なご意見をありがとうございました。 以上を持って閉会とさせていただきます。</p> <p><閉会></p>